



東北大学

平成26年1月31日

報道機関 各位

東北大学

平成26年度東北大学新規予算（内示）について

平成26年度概算要求における東北大学新規予算（内示）の主要事項について、お知らせいたします。

**（東北大学新規予算（内示）主要事項）**

○ **スピントロニクス国際共同大学院（コース）の創設**

国際社会で力強く活躍する「グローバルリーダー」を育成するため、本学の強みであるスピントロニクス分野において、世界トップクラスの教員陣による国際共同大学院（コース）を整備し、本学と海外機関との「対等な立場での協働」による世界最高水準の大学院教育の推進を目指す。

担当：教育・学生支援部長 佐藤義幸  
電話：022-795-3818

○ **研究型大学における次世代工学教育システムの構築**

工学系専門教育機能の充実のために、工学教育院を創設し、研究型大学における工学教育の体系的カリキュラムを編み、国立大学では初めての達成度評価に基づく学部から大学院までの6年一貫教育を推進し、グローバルに活躍できる研究者および我が国の産業を牽引できる技術者の育成強化を目指す。

担当：工学部・工学研究科経理課長 阿部芳浩  
電話：022-795-5825

○ **人間的判断の実現に向けた新概念脳型LSI創出事業**

情報量の急速な増大に加え、デジタルデバイドが急増している現代情報社会の危機的状況を回避するために、ハードとソフトを一新し、人間的な判断機能を取り込んだ低消費電力で柔軟なハード・ソフト融合型集積回路「新概念脳型LSI」の開発を目指す。

担当：電気通信研究所教授 羽生貴弘  
電話：022-217-5679

## ○ 法科大学院の入学定員の改訂

法学研究科の専攻の1つである総合法制専攻（法科大学院）の入学定員を現在の1学年80名から50名へ改訂し、法科大学院における双方向性授業の充実・活性化など、より徹底した少人数教育を実施することにより、多様化・高度化する社会の要請に応えうる優れた法曹の育成を目指す。また、法科大学院教育との連続性を意識した大学院博士後期課程の教育の充実を図り、法学研究科全体として、理論と実務の双方に通じた法学教育・研究の後継者を養成する教育の体制を整備する。

入学定員

総合法制専攻（法科大学院） 80名 → 50名

担当：法科大学院長 成瀬幸典

電話：022-217-5012

## ○ 医学部編入学の廃止

編入学定員を廃止し、個々の学生に合ったよりきめ細やかな指導を実践することにより、急激な少子高齢化の進行による医療ニーズの増大と多様化、療養の場の多様化等の変化に的確に対応できる保健・医療専門職の育成を目指す。

第3年次編入学定員

医学部保健学科 16名 → 0名

担当：医学系研究科教授 塩飽仁（シワク ヒトシ）

電話：022-717-7921

【本件全体に関する問合せ先】

東北大学財務部財務課主計第一係

電話 022-217-4882、4875